

健康福祉常任委員会会議記録（概要）

平成31年2月6日（水）

開 会 （午前10時0分）

【議 事】

○特定事件 「保健・医療について」

- ・所沢市保健医療計画における健幸長寿の取り組みについて

植竹委員長

平成30年度当委員会では、「健幸長寿」をテーマに、志木市、青森県鶴田町、青森市の先進自治体の視察、保健医療計画に係る健幸長寿の取り組みの総括などの調査を行い、課題と対策について協議してきました。また、昨年11月に政策研究審議会に対し「トコロん健幸マイレージ」について諮問し、1月に答申をいただいたところです。

これまでの委員会での審査や活動や皆さんのご意見を踏まえ、今後の市の健幸長寿の取り組みについての提言をまとめたいと考えています。

提言について、行うこととしてよろしいですか。

（委員了承）

それでは提言についてあらかじめお配りした正副委員長案をもとにまとめたいと思いますがよろしいですか。

（委員了承）

休 憩 （午前10時1分）

(休憩中に協議会を開催し、提言の内容について調整)

再 開 (午前10時45分)

提言案をまとめたのでご確認いただきたい。

健幸長寿の取り組みに関する提言

平成31年2月6日

健康福祉常任委員会

本市では、市民一人ひとりが健康を実感しながら地域で安心して生き生きと生活を送ることができるよう、「健幸長寿のマチ所沢」を掲げ、男女ともに健康寿命県内1位を目指し、所沢市保健医療計画や所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、健幸長寿の取り組みを進めている。

これまで、健康福祉常任委員会では、埼玉県志木市や青森県青森市等を視察し、他市における先進的な取り組みについて調査を行うとともに、特定事件として、保健医療計画に基づき健康推進部が実施する健幸長寿の取り組みについての総括を行った。

今後、高齢化や少子化が進み、地域や家庭の中における支え合いが困難となる中で、高齢者や障害者等を共に支え合い生き生きと暮らすことができる地域共生社会の実現に向けて、公的支援の充実と地域包括ケアシステムの推進とともに、「健幸長寿のマチ所沢」に資する取り組みについて、当委員会として下記のとおり提言する。

記

1 「トコロん健幸マイレージ事業」を始めとする本市の健幸長寿の取り組みにおいては、その事業による健康や医療費の抑制について実証的な効果測定を行い、事業の評価に取り入れるとともに、事業の参加者への景品等について民間事業者等と連携するなど、財源の面からも効率的な事業となるよう努めること。

2 心の健康を損なうことによるうつ病等の病気を抱える方が増えている中で、健康長寿の重要な取り組みとして、体の健康だけでなく、心身ともに健康で豊かな生活を送ることができるよう、医療機関との連携や、交流の場の提供など心の健康にもつながる取り組みの充実に努めること。

3 特定健康診査については、平成28年度の受診率が埼玉県市町村平均を下回る状況である。今後は、地区別に特定健康診査受診率、メタボ予備軍の割合、高血糖の割合などを集計し、市民に周知するなど、特定健康診査・がん検診等の充実と受診率の向上に努めること。

4 「健幸長寿のマチ所沢」の実現のためには、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むことが不可欠であり、地域ぐるみで健康づくりの活動を推進することが重要であることから、地域においてリーダーとなって健康への関心を高め、健康づくりの活動をサポートする人材の育成に取り組むこと。

5 「健幸長寿のマチ所沢」に向けては、所沢市保健医療計画や所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づく取り組みにとどまらず、部局

を横断し、総合的な事業とすべきであり、今後は「福祉」、「健康教育」、「街づくり」、「産業振興」、「産学官連携」といった視点も含めた事業として取り組みを進めるとともに、実効性を確保するためのシステムの構築に努めること。

植竹委員長

委員会としてこのとおり提言し、平成31年第1回定例会における常任委員長報告の中で報告することによろしいですか。

(委員了承)

また、特定事件「保健・医療について」のうち、「所沢市保健医療計画における健幸長寿の取り組みについて」は審査を終結することによろしいか。

(委員了承)

散 会 (午前10時51分)